

令和6年度 能登半島地震復興支援セミナー 第12回 アンケート

【日時】 令和6年12月20日(金) 15:00～16:00

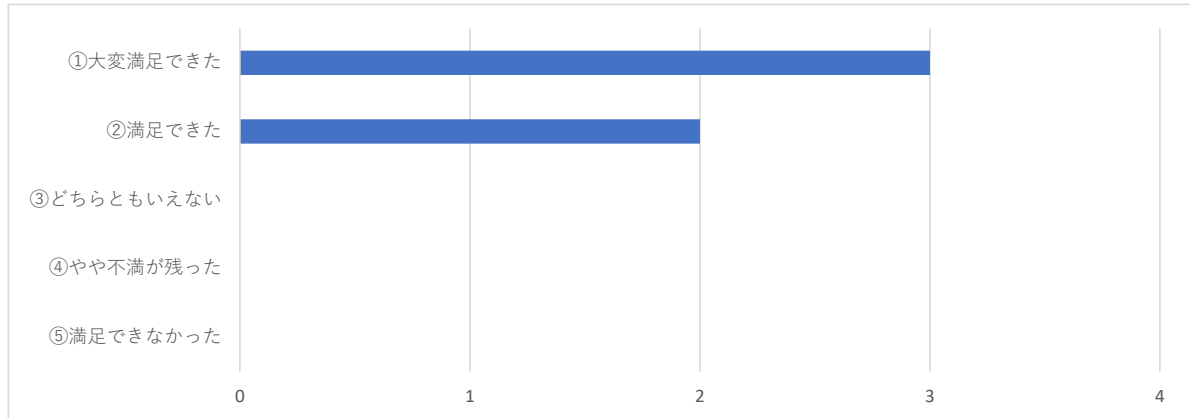
【タイトル】 令和6年能登半島地震における観光資源被害調査報告と創造的復興

【講師】 川澄 厚志

金沢大学 融合研究域 融合科学系 准教授

専門はコミュニティ開発、観光まちづくり

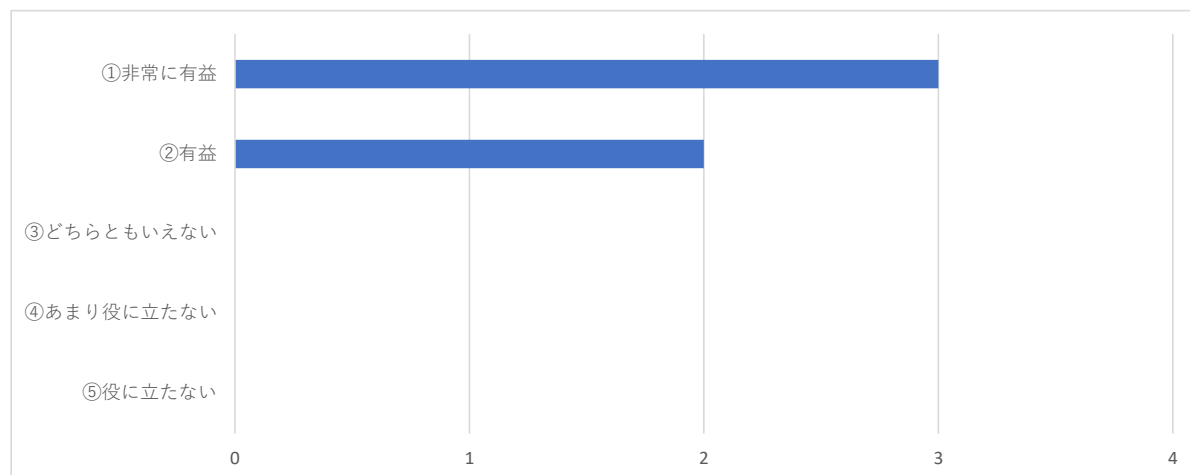
1. 講演はいかがでしたか。



2. 設問1の回答について、よろしければ、その理由を具体的にお書きください。

- ・被災者が復興を感じていることを発信してくれたら分かりやすい、研究者の方から判断しにくいとおっしゃった川澄先生の誠実さが伝わる講義だった
- ・著しい人口減少と高齢化の加速は良かれ悪しかれ、典型的な事例になる。4つの生(生活、生命、生業、生態)と4つの自(自由、自立、自尊、自治)は言葉・標語的には良いアイデアである。消滅する地域に貴重な財源を使うことの賛否も理解できる。

3. 被災地の現状を知るため又は復興のために役立つものでしたか。



講演内容やセミナー運営等で、良かった点、不満な点、感想、お気づきになった点などございましたら、ぜひお書きください。

- ・川澄先生の市町訪問スケジュールに合わせて現地住民も参加できると嬉しいです。コンソーシアムの回数を重ねるごとに自分の中にある疑問や不安、諦め、希望が整理されてきました。今まで講義してくださった先生方のその後の研究結果、実働結果を発信し続けてください。時薬が効くにはもう少しかかりますが、人薬には即効性を感じています。